

## 第3回明舞まちづくり委員会（準備会） 報告

主催 明舞まちづくり推進協議会・兵庫県住宅政策課  
事務局 特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

平成21年2月11日（水・祝）に開催した、明舞まちづくり委員会（準備会）についてご報告します。

今回は、住民参加型のまちづくりを実践しているまちへ実際にどのように活動、運営しているかを見学に行くという企画を立てました。

当日は12時30分に明舞センター広場前にて集合。大型バスには住民31名が乗り込みました。行きのバスは皆さん元気がよく、自己紹介行いながら今日の目的などを話し合いました。

約1時間30分走り続け、彩都に到着。彩都では、URの現地事務所の方から、彩都の概要等をお聞きしました。面積約750ha（まだ一部しか開発されていませんが、明舞団地の約4倍！！）計画人口5万人（現在約6千人）とのことでした。

現地では、「彩都コミュニティ広場」のスタッフが我々を迎えてくれました。「彩都コミュニティ広場」では、新しいまちである彩都でのコミュニティづくりがスムーズに行えるように、様々な形で住民活動をサポートしている団体です。

「彩都コミュニティ広場」のサポートを得て活動している住民団体の方々の説明がありました。高齢者が住環境の維持活動を中心に、自分の持つ様々な知識や技能をまちに役立てるシニアサークル「き・ら・り」。「企画ボランティア」に立候補し、「おしゃべりサロン」の企画運営を行っている「わいわい」など。

場所を変え、一転明舞団地よりも古い、千里ニュータウンの地区センターへ向かいました。明舞団地と同様に、空き店舗が目立ちます。ここで、空き店舗を活用し、コミュニティカフェ「ひがしまち街角広場」を運営する赤井さんが一行を迎えてくれました。

赤井さんは、「ひがしまち街角広場」を運営して8年。こちらの売り上げで、家賃や運営費がまかなえています。毎日のお客は約40人。赤井さんは、住民が施設を運営するノウハウや、考え方などを語ってくれました。参加者は皆熱心に聞き入り、また様々な質問をしていました。「来てくれる方がいるから続けられる。必要がなければ続けない。これは義務ではない。」「運営するものもボランティア、お客もボランティア。」「リタイアした夫婦は一日中一緒にいられないので、どちらかがここへ来るみたい。（笑）」

そして一行は夕刻18時30分、明舞団地に到着。約半日、皆さんの頭に様々な情報が流れ込み、様々な思いが生まれたことと思います。ここで得たものをこれからの明舞団地のまちづくりにどう生かしていくか、これが我々の課題だろうと思います。

